

# 摂食嚥下障害って？

歯科医師 増田 貴行先生から

寄稿していただきました

「摂食嚥下障害」をご存知でしょうか。「摂食＝食べること」と、「嚥下＝飲み込むこと」の障害であり、病気や加齢などの理由でうまく食べることができない状態のことです。この障害は口と喉だけに現れる症状だと思われがちですが、実はそうではありません。食事をするときには、正しい食事姿勢で、食べ物を見たり、香りを嗅いだりして食べ物であると認知し、その食材、あるいはその人の状態に合った食具（お箸・スプーンなど）を選択し、お口まで運び、噛んで、そして飲み込みます。この『食べる』という行為の一連の流れの中に障害が生じることを摂食嚥下障害と呼び、**食にまつわる全ての事が関連する障害**と言えます。また身体の機能障害だけではなく、精神的な部分が影響することもあるため、同時に考慮する必要があります。

ご存知の通り、この障害は特に高齢者に多い症例です。人生100年時代といわれる中、高齢化が進み、それに比例して摂食嚥下障害の方も増えてくることが予想されますが、その高齢者の方の楽しみ第1位は「**食事をすること**」と言われています。

私自身、訪問して嚥下診療を行う際に患者さんやご家族へ食事に関するお困りごとを聞くようになりますが、本来1番の楽しみであるはずの食事がご本人やご家族とも苦痛に感じている、ということをよく耳にします。

中には『いつも同じ場所で同じ嚥下食を食べている』という方もおり、時には『もう一度外食をしたい』という夢をお持ちの方もいます。少し前まではこの障害を有している方にとって外食は言葉通り夢だったのかもしれません、今では「**嚥下食**」を提供してくれる飲食店が広まりつつあります。まだまだ数は多くありませんが、そのような飲食店を調べてみたい！という方は右の「**摂食嚥下関連医療資源マップ**」というサイトに掲載されていますので、是非ご覧ください。また、お食事に関してお困りのことがございましたら訪問での嚥下診療にも対応している本田歯科クリニックまでお気軽にご連絡ください。

## 摂食嚥下関連医療資源マップ

- ① 嚥下診療を行う医療機関 ② 嚥下食を提供できる飲食店  
③ 嚥下に関する関連団体等を掲載しています。

飲食店には「東京ディズニーランド（千葉）」や牛丼の「吉野家（大阪）」、旅館の「かがや（石川）」などを掲載しています。また、嚥下食を提供して頂ける飲食店の登録も募集しておりますので、お住まいの地域で嚥下食の提供を検討していただけるお店がある場合は、ぜひご登録のお声掛けをお願い致します！

医療法人顕樹会 本田歯科クリニック 京都市伏見区深草北新町631-1 TEL 0120-713-648



黒川玲子 認知星人じーじ 楽しむ介護 実践日誌

本の紹介

認知星人じーじ「楽しむ介護」実践日誌  
サイズ 46判／ページ数 199p／高さ 19cm  
商品コード 9784759317152  
NDC分類 369.26  
Cコード C0095  
価格 ¥1,485 (本体¥1,350)  
海竜社 (2020/05発売)

\*\*\*\*

紀伊國屋書店の内容紹介から  
近ごろ父が、ちょっとおかしい。いつもと何がちがうのだろう？向かい合いたを、変えてみた。見つめてひらめく介護のかたち。

\*\*\*\*

著者の黒川玲子さんは、91歳、「要介護3」のお父様の介護をご自宅でされています。  
お父様の病名はアルツハイマー型認知症。  
書名にある「認知星人」は認知症のお父様の症状がわたしたちの感覚とは違う別の星から来た人のようという意味で名付けられたものです。

彼女の介護は一緒に住む兄弟と娘さんとともに「認知星人」のお父様の介護を続けています。  
その中で起きた出来事をまとめた本。介護の専門書ではなく、家族の様々な工夫の中で日々起きている「事件」を乗り越えていく記録です。  
読み進めて紹介されている「事件」に「あるある」と共感したり、面白いエピソードにふきだしたり。  
障がいへの対応を「こんな乗り越え方があるんだ」と楽しみながら簡単に読み進められます。  
そして、その本の巻頭から巻末まで貴かれているのは「これからも私にできることは、じーじを笑顔にする地球防衛軍でいることなのである。」  
という著者と家族の優しい気持ちです。

本書には素敵な家族に囲まれて暮らす「認知星人」のお父様の穏やかなお顔も掲載されています。

有限会社 あとくに福祉研究所

きょうと福祉俱楽部 075-958-2560  
長岡京市天神4丁目 7-12 ハイツ東台101



きょうと福祉俱楽部では皆様からの原稿を募集しています。お気軽にお問い合わせください